

「地域で生きる」を支える急性期病院

私たちができる看護が拡がります

NURSE RECRUIT GUIDE

看護職員募集案内



公立学校共済組合 関東中央病院

Kanto Central Hospital of the Mutual Aid Association of Public School Teachers

“個”を育み、“和”を築く

あざやかな花を咲かす木が大地に根を張るように、
当院は看護の基礎～根となる“確かな技術”と“豊かな感性”を育みます。
そして、看護師が患者さんと病院を、多職種をつなぐ幹となり、
質の高い医療を提供することを目指しています。
そんな和が生まれた時、きっと多くの人の心に大きな花が咲くはず。



病院の
基本理念

— 心あたたかく日々新たに —

1. 最適な医療を安全・確実に提供します。
2. 患者様の意思と自己決定権を尊重します。
3. 地域と職域に開かれた病院を目指します。



看護部の
理念

私たちは、互いを尊重し、
安心と信頼に応える看護を提供します。



基本方針

1. 患者さんに満足される安全で安心な看護を提供します。
2. 質の高い看護を提供するために自己研鑽に努め、ともに学び成長します。
3. 看護の専門性を発揮し、他職種とともにチーム医療を推進します。
4. 地域の保健・医療・福祉機関と連携し、患者さんの地域での生活を支えます。
5. 組織の一員として、積極的に病院経営に参画します。



木村 弘江
●副院長・看護部長

共に学び、共に育つ 豊かな心と実践力を持つ看護師の育成

関東中央病院は、世田谷区の総合病院として、急性期・がん・二次救急医療を中心に、安全で安心な医療・看護の提供に、職員一人ひとりが日々取り組んでいます。人生100年時代と言われる現在、患者さんはじめ地域の皆さん方が人生をよりよく生きていけるように、最適な医療・看護と退院後の生活支援を中心に、将来にわたって寄り添っていきたいと考えています。

当院は、看護提供体制としてPNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)を取り入れています。これは、看護師の経験に関わらず、2人の看護師が複数の患者を受け持ちながら看護ケアを提供し、互いに補完し相乗効果を発揮しながら、その責任と成果を共有し、患者さんにとって安心で安全な質の高い看護を提供するという

看護提供体制です。

また、看護教育体制は、基礎コース、キャリア発展コースを基盤にした卓越したジェネラリスト、スペシャリスト、看護管理者・教育者を柱とした人材育成に取り組んでおり、看護師一人ひとりの努力と存在を認め、看護師を大切に育てる「共育」の仕組みがあります。

そして、ワークライフバランスを支える充実した福利厚生や看護宿舎や院内保育園などのサポート体制も整っており、看護師として安心して働き続けられる環境があると考えています。

これから看護師となる皆さん、看護師としての第一歩を当院でスタートしてみませんか。当院職員はもとより、なによりも患者さん地域の皆さん方が新しく看護師になる皆さんを心待ちにしています。



Contents

目 次

教育制度

P03

新人教育研修

P05

スペシャリストの育成

P07

チーム医療の推進

P08

部 署 紹 介

P09

福利厚生・周辺環境

P10

個を大切にしながら、看護のプロを育成



教育制度

患者さんのニーズに応えるため、
看護部はチーム医療の中で看護師の役割を果たすことのできる人材を育成しています。
そのうえで新卒者・経験者問わず、それぞれの目標に向かってキャリアアップしていく体制を整えています。
レベル毎に設けられた研修はもちろんのこと、
日常業務の中でもさまざまなスキルを学べることが大きな特長です。



PNSの一員として協働し、
自分の考えを持った看護を提供したい

●3東病棟

4月に配属されすぐは本当に何もできず、患者さんと話をするだけでとても緊張していた私ですが、半年近くが過ぎて自分でできることも増えてきました。自分が色々と考えて看護を提供させていただいた患者さんが元気に退院されるとやりがいを感じます。今後の目標はPNSの一員として先輩たちと協働しながら、自分の考えを持って看護を提供できるようになることです。



新人看護師と一緒に考え、共に成長していくことを大切にしていきたい

●3東病棟

1人ひとりの新人が、のびのびと成長してほしいと思っています。先輩看護師も得意・不得意があるように、新人看護師にも覚えること・考えることが苦手思うことがあると思います。1人ひとりと向き合い、その人に合ったレベルをしっかりと見つけ、一緒に考え、共に成長していくことを大切に、日々新人と関わっています。1年かけて看護師としての自分のあり方が見出せればうれしいです。

|| 教育理念

病院と看護部の理念を基盤として、
時代に対応した信頼される質の高い看護が提供できる看護師を育成します。

|| 教育方針

1. 看護実践能力及び果たす役割を段階的に修得し、的確に判断し行動できる看護師を育成します。
2. 主体的に学び専門職として自律した看護師を育成します。
3. 倫理観に基づいた豊かな人間性と社会性を備え、地域に貢献できる看護師を育成します。

|| キャリアラダー

専門職として成長できるようクリニカル・ラダーを導入しています。卒後5年目(ラダーIV)までを基礎コースとして一人前の看護師に成長できる教育プログラムを組んでいます。ラダーIV修了後もそれぞれの希望、能力に沿って「看護管理・教育者」「卓越したジェネラリスト」「スペシャリスト」の道に進むことが可能です。経験者(既卒)の方もこれまでのキャリアを活かし、さらにレベルアップできます。



看護部研修室

看護部独自の研修室で臨床現場同様の環境が整っており、看護技術や知識の習得が不安なくできます。
研修以外のカンファレンスや会議などにも使用できます。



患者さんのニーズを的確にとらえ、
常に先を予測できる看護師を目指す

● ICU

ICUの勤務は、最初は不安がありましたが、先輩から時に優しく、時に厳しく指導してもらうことで、同期と共に1年で大きく知識・技術・アセスメント力が向上し、成長することができました。PNSを導入し、これまで以上に先輩・後輩関係なく相談や補完ができるようになり、カンファレンスも充実しています。患者さんのニーズを的確にとらえ、常に先を予測できる看護師を目指していきます。



家庭を持ちながら働くことができ、
公私ともに充実した日々を実感

● 5東病棟

産後半年が過ぎた頃から「自分自身でいられる時間と場所」がほしいと感じ、育児部分休業制度と院内保育室を利用して復職しました。悩みや課題はありました
が、PNSでペアとその場で看護を共有し、相談ができる
ことで強い達成感を感じ、公私ともに充実した日々
を過ごしています。家庭を持ちながら働くことを選択
する後輩看護師の一例となることが、今の目標のひとつです。

未来につながる看護実践力の修得

新人教育研修

新卒1年目は、これから看護師として活躍するための基礎を学びます。

それは知識や技術だけでなく、看護のやりがいやよろこびの発見も含まれます。

新人教育研修は、看護実践研修、医療安全研修、夜勤トレーニング、他部署を経験する交流研修、

フォローアップ研修など、1年間を通じて総合的なプログラムが組まれていることが特長。

さらに各部署では、先輩看護師が親身になって指導・サポートするので安心です。



◆新採用看護師バッジ

チーム支援型 新人看護師教育体制

病棟スタッフ全員が新人教育に関わります。主に、看護技術、業務指導を行う新人担当者と、新人看護師の指導と新人担当者への支援を行う教育担当の主任看護師を配し、新人指導者以外のスタッフも教育支援に関わるような仕組みを作っています。

新人看護師が自分で考え、やりがいを
もって働くことできるように配慮

●6東病棟

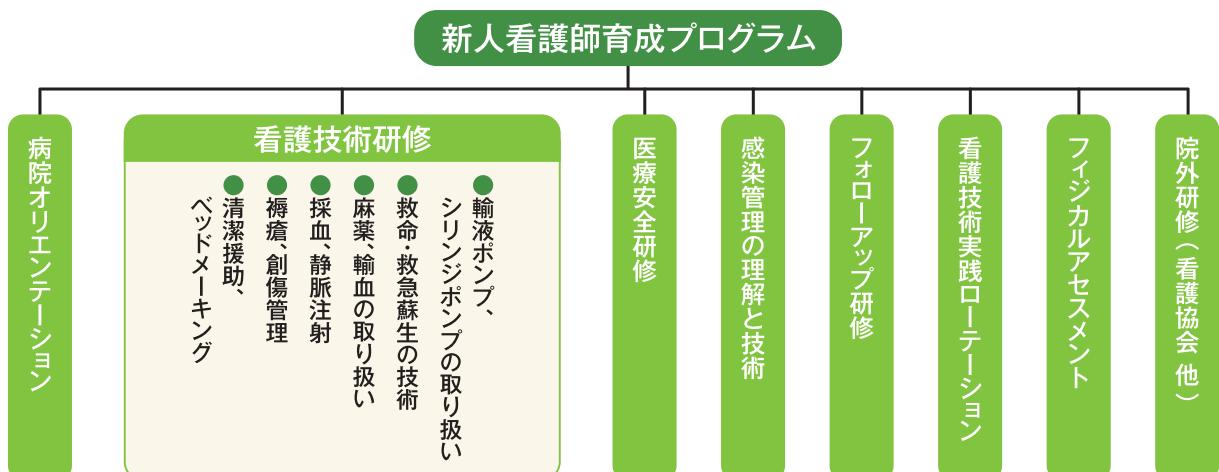
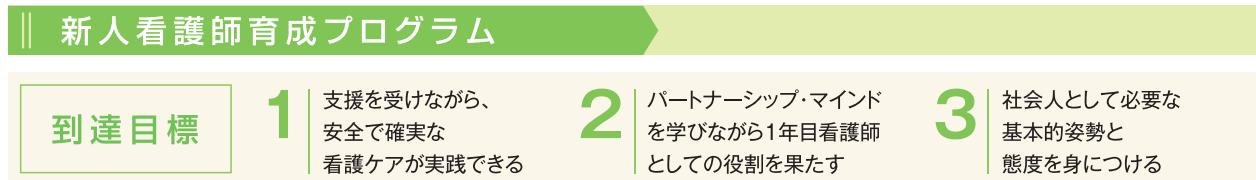
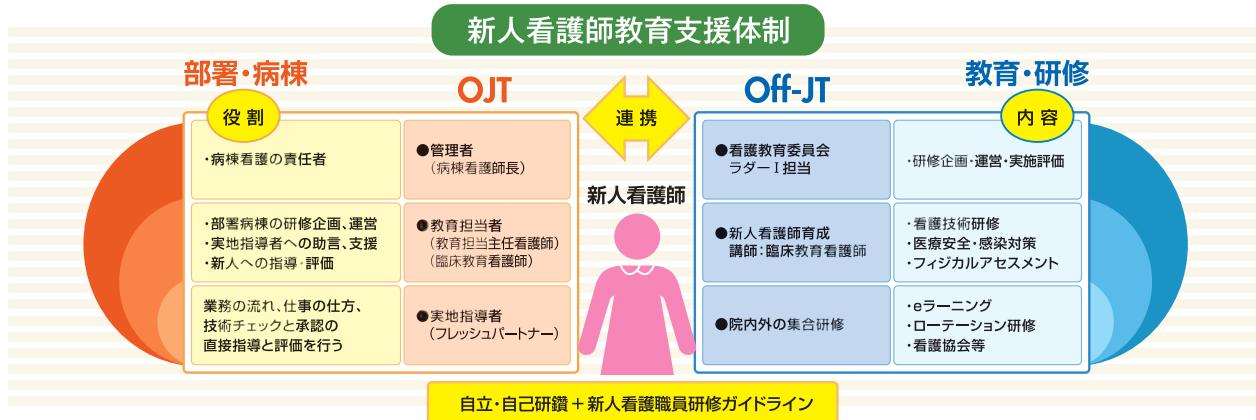
新人の時に先輩から「自分の大切な人、家族だと思って患者さんにケアをしていくね」という言葉がとても印象に残っていて、今でも大切にしています。知識や技術は経験を積めば得られると思うので、それよりも新人さんがのびのびと楽しく、やりがいをもって働くことできるように配慮をしています。また全てを教えるのではなく、自分で考えて行動することが習慣化されるよう心がけています。



先輩看護師とのコミュニケーションを
通して根拠に基づいた知識・技術の習得

●6東病棟

私の勤務する地域包括ケア病棟では、週に1度、グループ内で新人の技術課題の進捗度を確認・共有しています。ケア実施後の振り返り、改善点やコツのアドバイスをもらい、先輩へ質問し、疑問を解消することで、根拠に基づいた知識・技術の習得へとつなげています。未熟な私に熱心に指導してくださる先輩たちのおかげで、前向きにやりがいを持って日々仕事をすることができます。



|| スペシャリストの育成 ||

専門看護師・認定看護師をはじめとするスペシャリストの育成も、力を入れている取り組みのひとつです。現在、年間2～3名に対して資格取得の支援を実施しています。

スペシャリストは患者さんに質の高い看護を提供するだけでなく、看護部全体の質の向上やチーム医療を強力に推進する存在です。

その一環として、看護専門外来も積極的に展開しています。

看護専門外来の紹介



がん看護相談

がん医療の進歩によって、がんと共に生きる暮らしが多様化する中、さまざまな不安も生じています。がん看護相談では患者さんだけなくご家族からの相談にも応じることで安心して治療を受け、安楽な日常生活を送ることができるよう支援しています。



緩和ケア相談

がんなどの疾患をもつ患者さんとご家族の身体的・精神的苦痛を和らげると共に、社会的・スピチュアルな問題を改善するための支援を行っています。内容によっては、緩和ケアチームのメンバーやソーシャルワーカーと連携し、最適なサポートを努めています。



糖尿病 フットケア外来

日本の糖尿病患者は予備軍を含めると2050万人といわれ、今後も高齢化さらに増加すると予測されます。糖尿病フットケア外来では、糖尿病療養指導士の資格をもち、糖尿病重症化予防研修を修了した専門知識・技術をもつ看護師が、足のケア、糖尿病による足病変や生活指導、インスリン指導などを行います。

当院所属の専門・認定看護師

専門看護師

- 皮膚・排泄ケア認定看護師(2名)
 - 感染管理認定看護師(2名)
 - がん化学療法看護認定看護師(1名)
 - 緩和ケア認定看護師(2名)
 - 認知症看護認定看護師(1名)
 - 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師(1名)

学会認定(等)

- 認知症ケア専門士
 - 消化器内視鏡技師
 - 実習指導者研修修了者

キャリア
支援制度

- 認定・専門看護師資格取得に対する支援
　　給与・交通費の支給、受講費用一部支援
 - 認定・専門看護師資格更新に係る支援
　　学会、研修参加へ経費支援
 - その他の資格取得に関する費用の支援
 - 長期研修に係る研修費用への支援



ストーマ看護外来

ストーマ看護外来では、ストーマ保有者や、失禁による皮膚トラブルを抱える方に対して、予防・改善の指導を行っています。それぞれの状態やライフスタイルを考慮して、より良い日常生活を送ることができるよう、個別的・専門的ケアを継続的に行ってています。



リンパ浮腫外来

リンパ浮腫は、早期発見と状態にあった適切なケアにより悪化を防ぎ、できるだけ患肢のよい状態を保つことで患者さんのQOLを維持します。年齢・既往歴・生活スタイルに合わせた日常生活の指導や圧迫方法、リンパドレナージを行っていく中で、患者さんから「楽になった」という声が届き、笑顔が見られた時はとてもうれしいです。

安全で質の高い看護を提供する看護方式

PNS パートナーシップ・ナーシング・システム //



ペアで受け持ち患者を確認。情報共有・ケアの打ち合わせ

一般病棟では、パートナーシップ・ナーシング・システムを導入しています。1年を通じたパートナーと、対等な立場でお互いの特性を活かし委員会活動・病棟内の係りの仕事など相互に補完し、その成果と責任を共有します。また、日々の看護ケアは、2名1組でペアを組み情報を共有し、効率的で安心・安全な看護実践を提供しています。



ペアで検温・処置へ。リアルタイムに記録する



日勤ペアは、お互いの業務を補完し、定時終了を目指す



笑顔で、業務終了

チーム医療の推進 //

チーム医療を支える“要”として活躍



効果的な治療とケアを提供するためには、多職種が連携してそれぞれの専門性を発揮するチーム医療が不可欠です。チームにおいて看護師は看護を実践するだけでなく、同じ目標を達成するためにチームメンバーをまとめるコーディネーターとしての役割も担っています。

当院では職種に関わらず、すべてのメンバーがフラットな関係で、患者さんにとって最適な医療を提供するためにベストを尽くしています。



認知症ケアチーム

毎週病棟ラウンドを行い、認知症の患者さんについて病棟看護師からの相談に応対しています。問題行動を起こし意思疎通が困難な患者さんに対して、不安や混乱から感じている苦痛を最小限にする関わり方や、その人らしさを大切にした安心で心地よい療養生活を送っていただけるようなサポートをしています。



緩和ケアチーム

医師・看護師・薬剤師がチームを組み、主治医や病棟看護師と連携しながら、あらゆるがんに伴う身体的・精神的苦痛の緩和を図ります。また、専門的な立場から、がんの集学的治療を円滑に行うためのコンサルティングも実施しています。

情熱と誇りを持ち、専門性の高い看護を展開

部署紹介

地域の中核病院である当院には、さまざまな部署があります。

それぞれの部署は治療内容や疾患、患者さんの状態に応じた専門性の高い看護ケアを展開。

そして、自分の看護に誇りとやりがいをもち、イキイキと働いています。



3階東病棟

当病棟は、上部・下部消化管外科、呼吸器外科があり、食道・胃・脾臓・胆のう・大腸などの手術を行っています。看護師は昨年度よりペアパートナー制を取り入れており、パートナーシップナーシングシステムの導入に向け取り組んでいます。



手術室

外科(消化器・胸部)・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・婦人科・乳腺外科・形成外科・皮膚科・眼科・ラジオ波焼灼術(消化器内科)の11診療科が、年間約3,000件の手術を行っています。鏡視下手術やステントグラフトなどの低侵襲手術に取り組んでいることも特長です。



地域医療連携

当院の地域医療支援病院・急性期病院という役割の中で地域と病院・患者さんと地域の暮らし・院内の多職種など様々な場面での「連携」を図ることを主な仕事としています。毎週退院支援カンファレンスを部署に出向き行っています。



5階西病棟

当病棟は混合病棟です。主な疾患は、呼吸器内科は肺癌、慢性呼吸不全、喘息、肺気腫、肺炎、代謝内分泌内科は糖尿病、代謝異常、皮膚科は帯状疱疹、皮膚がんの診断、粉瘤手術、褥瘡による感染です。高齢急性期の患者さんが多く、入院時から退院を視野に入れた介入を行い、早期退院を目指しています。



ICU

ICUでは主に侵襲の大きな手術後の患者さんや、生命の危機にある患者さんが治療を受けています。医師・看護師・薬剤師・臨床工学士と共に、安全で適切なチーム医療の提供に努めています。緊迫した環境の中でも患者さんの回復のために協力し合える、頼もしいスタッフが集まつた職場です。



DMAT

DMATは、災害急性期に活動できる機動性を持った医療チームです。専門的な訓練を受けた医師・看護師・業務調整員で構成され、大規模災害などの現場で救命活動を行います。東京都の災害拠点病院である当院は平成26年、看護師2名を含む5名からなるDMATを結成しました。

入職前に 知っておきたいコト

Q 看護師宿舎はありますか?

A 病院敷地内に看護師宿舎を完備しており、病院近くにもワンルームマンションを確保しています。

Q 配置部署はどのように決められますか?

A 第1希望、第2希望をお聞きして、できる限り希望に応えられるよう配慮しています。

Q 職場のローテーションはありますか?

A 看護部のキャリア開発ローテーションに沿って、本人のキャリア開発、職場の状況を確認しながらローテーションを行います。新人看護師は、12月前後に他部署との交流研修を設けています。

Q スキルアップできる環境はありますか?

A クリニカルラダーシステムに沿った教育体制を整えており、年間を通して研修を実施し、人材育成を図っています。院内での集合研修だけでなく、e-ラーニングを活用した自己学習も可能です。また、病室を活用した看護部研修室を設置していますので、実践力の定着・向上に役立ちます。

充実のオフタイムを

福利厚生のご紹介

看護師宿舍

病院のすぐ近くにあるので、通勤はラクラク。お部屋には快適な設備が整っていて、静かな環境の中で充実した毎日を送ることができます。
安心・快適に暮らせる環境があるので、仕事もプライベートも充実!

■間取り 1K ■広さ:29m²

■ 設 備

バス・トイレ(セパレート)

室内洗濯機置場

モニター付きインターホン

オール電化設備

電気温水器給湯システム

IHキッチン

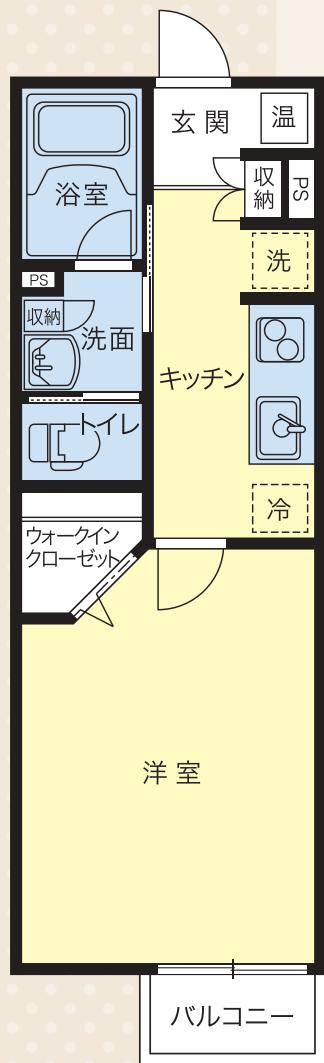
クローゼット

■併用設備

オートロック

駐輪場・駐車場

宅配ボックス



A group of children are gathered around a low wooden table in a classroom setting. They are all wearing orange aprons and are focused on a craft activity. The table is covered with various materials, including what appears to be paper cutouts of flowers and leaves. The room has a warm, inviting feel with soft lighting. On the left, there's a whiteboard decorated with colorful paper cutouts of butterflies and flowers. To the right, there's a window with pink curtains and a whiteboard with children's drawings. A large, colorful paper flower hangs from the ceiling on the left. The overall atmosphere is one of a creative and educational environment.

保育園
院内保育園を完備。できる限り負担・不安なく働けるよう
に、病児・病後時保育、夜勤保育を実施しています(日数
限定)。お子さんが体調をくずされた場合は、小児科の医
師が診察・治療にあたるので安心です。

圖書室

スタッフ専用の図書室は、看護関連をはじめ専門雑誌約200誌を保有し、専従の司書が管理しています。さらに、オンラインジャーナルや臨牀上の疑問に対する回答をすぐに入手できる「Up To Date」も利用できます。

クラブ活動

定期的に多部門のメンバーが集まり、クラブ活動を行って職員間の交流を深めています。コーラス部は職員のほか、患者さんやご家族・ご友人を含む35名ものメンバーで、コンサートを開催。ウォーキングクラブは都内のウォーキングイベントに参加し、心身とともにリフレッシュしています。



病院には電車とバスが利用できます。

バスは当院の前に止まります。

また、渋谷、新宿へのアクセスも便利です。



【渋谷駅より】

◆東急田園都市線「用賀駅」下車→東急バス

- 用21「関東中央病院」行／用22「美術館」行(約10分)「関東中央病院」下車(正面玄関着)
- 等12／用06「成城学園前駅」行(約10~15分)「関東中央病院前」下車徒歩1分

【新宿駅より】

◆小田急線「千歳船橋駅」下車徒歩15~20分

◆小田急線「成城学園前駅」下車→南口バス乗り場:東急、小田急バス

- 渋24「渋谷駅」行(約15~20分)「関東中央病院前」下車徒歩1分

■住 所:〒158-8531 東京都世田谷区上用賀6-25-1
 ■電 話:03-3429-1171 ■FAX:03-3426-0326



看護部ホームページ

<https://kanchu-kango.net>

病院ホームページ

<https://www.kanto-ctr-hsp.com/>